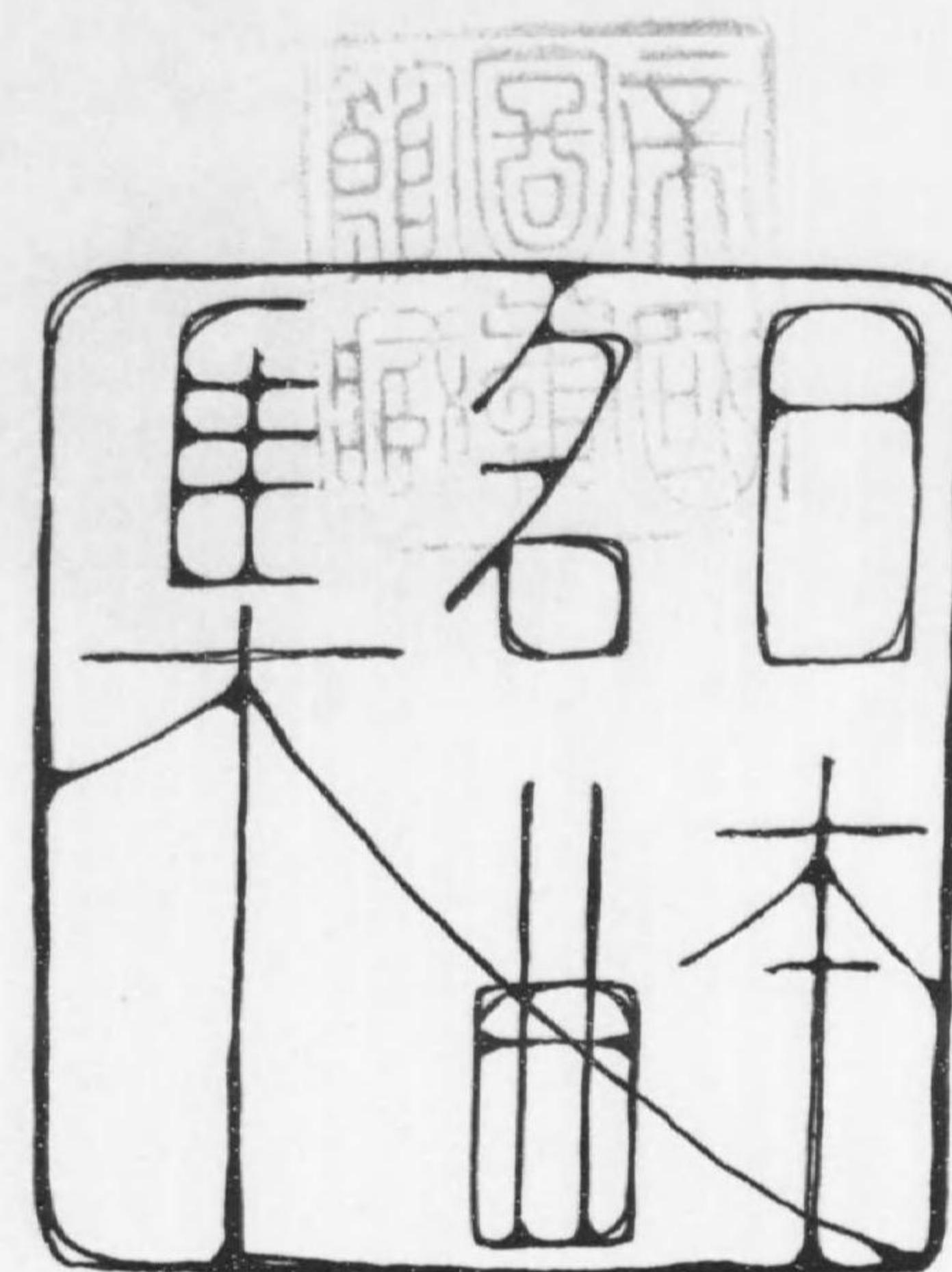


始
→

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 1 2 3 4 5



301
396



大正
2.7.3
内交

三絃

野崎連引 本調子

つづみにへだた
れぞ
ゑんをひきづ
なれどすちに
はしが國さ

伊豆ふし
紀伊の國
梅の春
勧進帳

目 次

野崎(連彈).....	1
黒髪.....	2
春雨.....	4
書き送る.....	5
大阪盆踊り.....	27
浅くこも.....	5
宇治は茶所.....	28
鶴の聲.....	6
かつぼれ.....	28
京の四季.....	6
三十三間堂.....	8
我か戀.....	8
降りて行く.....	9
十日戎.....	9
袖の露.....	10
梅にも春.....	11
夜櫻.....	12
深川.....	12
極づくし.....	13
こすのと.....	14
紀伊の國.....	15
流しの枝.....	16
千鳥の曲.....	17
越後獅子.....	20
六段の調.....	23
松のみざり.....	25
八千代獅子.....	30
我か物.....	32
御所車.....	33
元禄花見踊.....	34
大津繪.....	36
夕ぐれ.....	37
わしが國さ.....	37
伊豆ふし.....	38
鶴龜.....	39
梅の春.....	41
勧進帳.....	43

野崎ワルキ連引

野崎ワルキ連引

はひお
の
みかな
かせ
よくの
ひわかころじころ
うきよなむ
曲三絃 黒かみ 三下

くろかみのむすほれたるおもひ

黒かみワルキ

は こそひこりぬるよのあだまくら
そてはかたし
つまばやこいふて
ぐちなおなじのこころこしらでん
こふけたるかねのこゑ
ゆふべのゆめのけささめ
てゆかしなつかしやるせなやつも
るこしらでつもるしひゆ



春 雨

二上↑

はるさめに
しつぼりぬるるうぐひすのはかせににほふ
うめがかやはなに
たはむれしらしやこり
てさへもひとすちにねぐらまたもるきは
ひとぞ
わたしゃうぐひすぬしはうめやかてみまきまに
なるならばタアあうしゆくはいじやないか
いなタアサなんでもよいわいな



書き送る

本調子

かきおくるふみもしognakiはや
だいてねよどのおきにて
いはにせかれてちるなみのゆきかみぞれ
かみぞれかゆきかごてあはぢのふた
つもじつまをこひしこしどうてくらすエ



浅く共

本調子

あさくと
きよきながれのかきつはた
んでゆききのぬれつばめ
のぞいてきたかあみかさのかほはみたうは
ないかいな

曲三絃 鶴の聲 本調子

のきのあめたちよるかけはな
にはつやあ
しふくやこのこしめやかにかたり
あかせしきるいこはうそかまことか
そのことのはに
ひとこゑいくちよかけですゑ
はたがひのともしらが

京の四季 本調子

はるははなみさみにじんせひか
しゃまいろかあらそふよさくらや

京の四季 本調子

うかれうかれてすもぶするもものかた
にほんさしてもやは
らかうきをんどうふのにけんじや
やみそぎせなつはうちつれてかはらにつごうゆふ
すずみヨイヨミヨイマタ
玉くづかはらにそよそよとあきのい
ろますかちょうさんしぐれをいと
うからかさのぬれてもみぢのちやうらく
おもひぞつもるまるやまにけさも
きてみるゆきみざけエエそしてやぐらの
さしむかひヨイヨイヨイマタ

三絃

三十三間堂

木調子

わかのうら
にはめいじよかございちにじん
りんににたまつしま
さんにはかりまつしにじはかま
よ

三絃

我が戀ひ

木調子

わがこひはすみよし
うらのゆふけしきただあをあをこまつ
はかりまつはういものづらいもの

三絃

降りてゆく

木調子

おりてゆくはなのさかりを
さきにたてやま
てさりよふねにじょかたいたん
はこちやすかん

三絃

十日戎

三下

どうか並びすのうりものははぜぶくろにこりばち
ゼにかますこはんにかねばこたてゑほしゆではす
さいづちたはねのしおささをかたげてちどりあし

三絃
袖の露
二上↑

しらいとたにしちきり
ひとこはん つらさ
にあきのよそなかきあたにこひ
くるつきはうらめ
しきはうらめし
あけかたのまくらに
さとふまつむしの
ねも
たへだへにいと
となほおぎふくかせのお

袖の露 ヴィオキ
梅にも春 本調子

づれもさくやこまちてわびし
さのなみたのつゆのおきておもひ
よしてまろねのそでにかはかん
三絃
梅にも春
本調子

うめにもはるのいろそ
へてわかみづくむかくるまゐの
おこもせわしきとりおひやあさひに
しきひとかけはもしやこおもふこひのよく
こほむかぐらやかづこりにまつづらやねす
みなきあふてうれしきささ
きげん

三絃 夜櫻 三下り

よざくらや うかれからす
かまいまいかはなの
こかけにたれやらがいるわいな とほ
けさんすなめぶきやなぎのかせにもまれているわい
なエエふわりふわりとオサ そうかいなさ
うしづな 三絃

深川 三下り

ちよきて サッサゆくのか
ふかかはかよひ あかるだんばしこの
アレワイサ! サいそいそと さやくのこころはうはのそらと
んでゆき たいアレワ(サ)サめしのそば

三絃 松づくし 二上り

うたいはやせやだいこくの いつほんめ
にはいけのまつにほんめにはにはのまつ
さんほんめにはさかりまつしほんめ
にはじかのまつをのへのまつやそねのまつ
しちほんめにはひめこまつはちほんめ
にははまのまつここのみまつをうまなら
べとうでとよくのいちのまつこのまつは
ふようのまつなさけありまのまつがにや
くごりばなひくあひおひのまつまたいついつの
やくそくにひをまつときまつくれをまつれんりのま
つにちぎりをこめてめでたいなわかゑびす

三絃
こすのと 木調子

こへど こたへぬやまほ
こへど こぎす
つきやはもの
のやる
せ
な
しゃくにうれしきをここ
のちからじつとてにてをな
んにもいはずそよぐわかた
けかやのひも

三絃
紀伊の國 木調子

きいのくにはおとなせがはのみな
かみにたたせたまはせんざん
ふなだまじうにしやだいみやうじんさてどうごくに
いたりてはたまひめいなりかみめぐり
べきつねのよめいりおにもつをかつぐはかう
りき
たのめばたま
ちのそですりもさしづめこよひは
まちじよろうコンコン・タキンコン・タキンなごはまつさきまつくろくろくろすけ
いなりにつままれて
こまでなしたるしのだづま

三絃

流しの枝

木間子

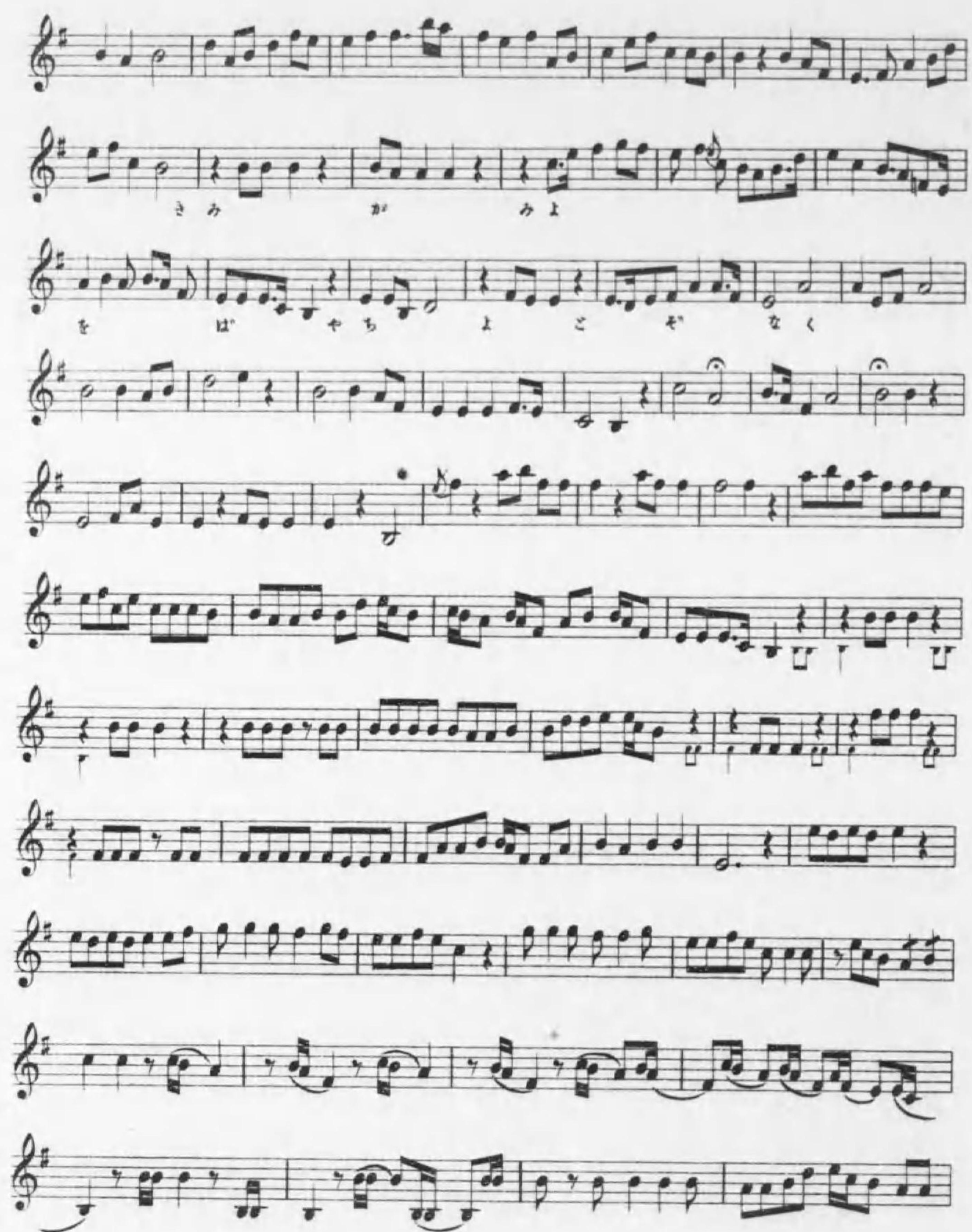
ゆきくれてこのし
たかりそらに
しらぬゆきち
るは
なのまくらにふぶきのしづねにく
やあらしのあてここをきい
てかしのはな
だ
てかしのはな
ほんにあかたのきは

流しの枝 ツバキ

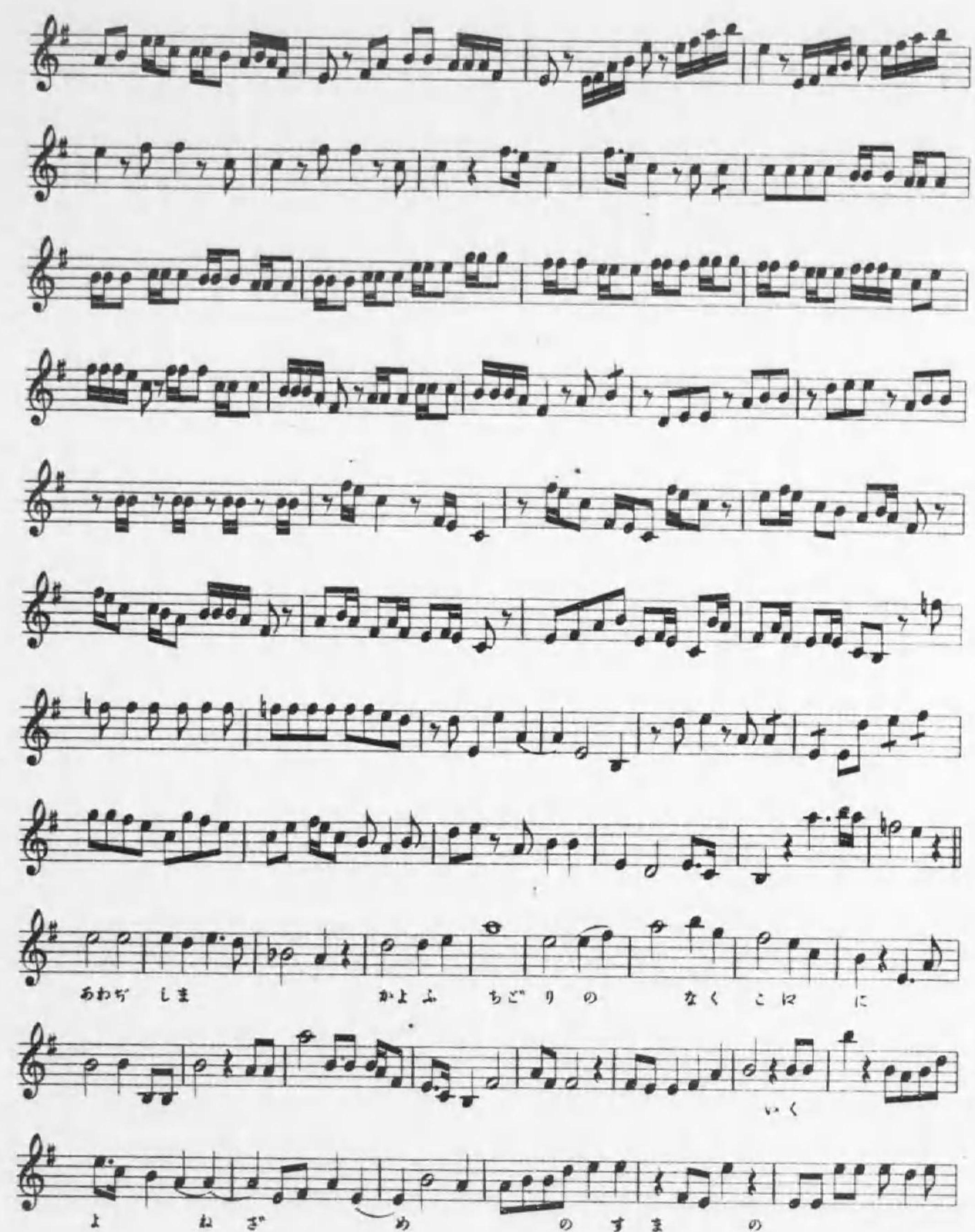
かりくんてひこよふしごのたのもしき
いはぬがいふにいやまさる
はなやこよひのあるじならまし
千鳥の曲

しはのや
さしてのいそ
にすむちごり
きみかみ上
を12年
よごぞなく

千鳥の曲 ツヤキ



千鳥の曲 ツヤキ



千鳥の曲 ツヤ

せき も り う ねざ めみ の すま の せき も り

越後獅子 三下り

なん たら ぐちぢや五 ほたんは もたねご
五ちごの じしわ おのかすかたをはなごみてにわに
さいたり さかたりそこのおりさにいなこと いわわれ
ねまり ねまらず まちあかすごされはなしましよこんこまつのかげてまつののはのようにこんこまやかに

越後獅子 ツヤ

うたよしの まかひの うだぶしの ちにひるの みてそらの に
おののかすかたをはなごみてにわに
さいたり さかたりそこのおりさにいなこと いわわれ
ねまり ねまらず まちあかすごされはなしましよこんこまつのかげてまつののはのようにこんこまやかに

越後獅子ワヤキ

Musical score for '越後獅子ワヤキ' (Sheet 22). The score consists of ten staves of music for a single instrument. The lyrics are written below the staves:

みわたせはみわたせはにしもひかしも
はなみのきいつれにきおおひごのやまひごのやま
うちよするうちよするめなみ
おなみのたにまなくさかまくみつのおもしろやおもしろや

六段の調

本調子

Musical score for '六段の調' (Sheet 23). The score consists of ten staves of music for a single instrument. The sections are labeled: 三絃 (Sanxen), 初段 (Shisan), 二段 (Nisan), and 三段 (Sandan).

六段の調 ツヤキ



六段の調 ツヤキ

Musical score for 'Six Sections of the Tune' (六段の調) in 'Tsuyaki' (ツヤキ) mode, page 25. The score continues from page 24, featuring ten staves of music for a single instrument, with a section labeled '四段' (Yon-nin) and '三段' (San-nin).

木調子

松のみどり ツバキ

こよしよ
ちたひむかはる
ことに
なほも
ふかめにまつのみどりか
かもろのをあ
ある
ふたばの
いろにひたにふのかせの
の
上
かよ
ふ
まつのかせの
たい
ふ
の
の
そ
こ
の
は
ち
も
ん
じ
は
で
き

松のみどり

みせたる たり ひだし づま ように たまつのねあかり
 もひひこ つひか こひのまかきに もるる
 さこはねびきのひ
 べつせかい
 よ上の
 まここここうらおもてくらべごしなするつつ
 ふづつふりわけかみもいつしかにおひこ
 なるまですゑひちひをひらき
 そめたるなひこそしゆくせめ

三絃

大阪盆踊り

二上り

かんてきわつた すりばちわつた ひかられだ おもしろてたまらん

三絃

宇治は茶所 木調子

三絃

かつぼれ 二上り

かつぼれ

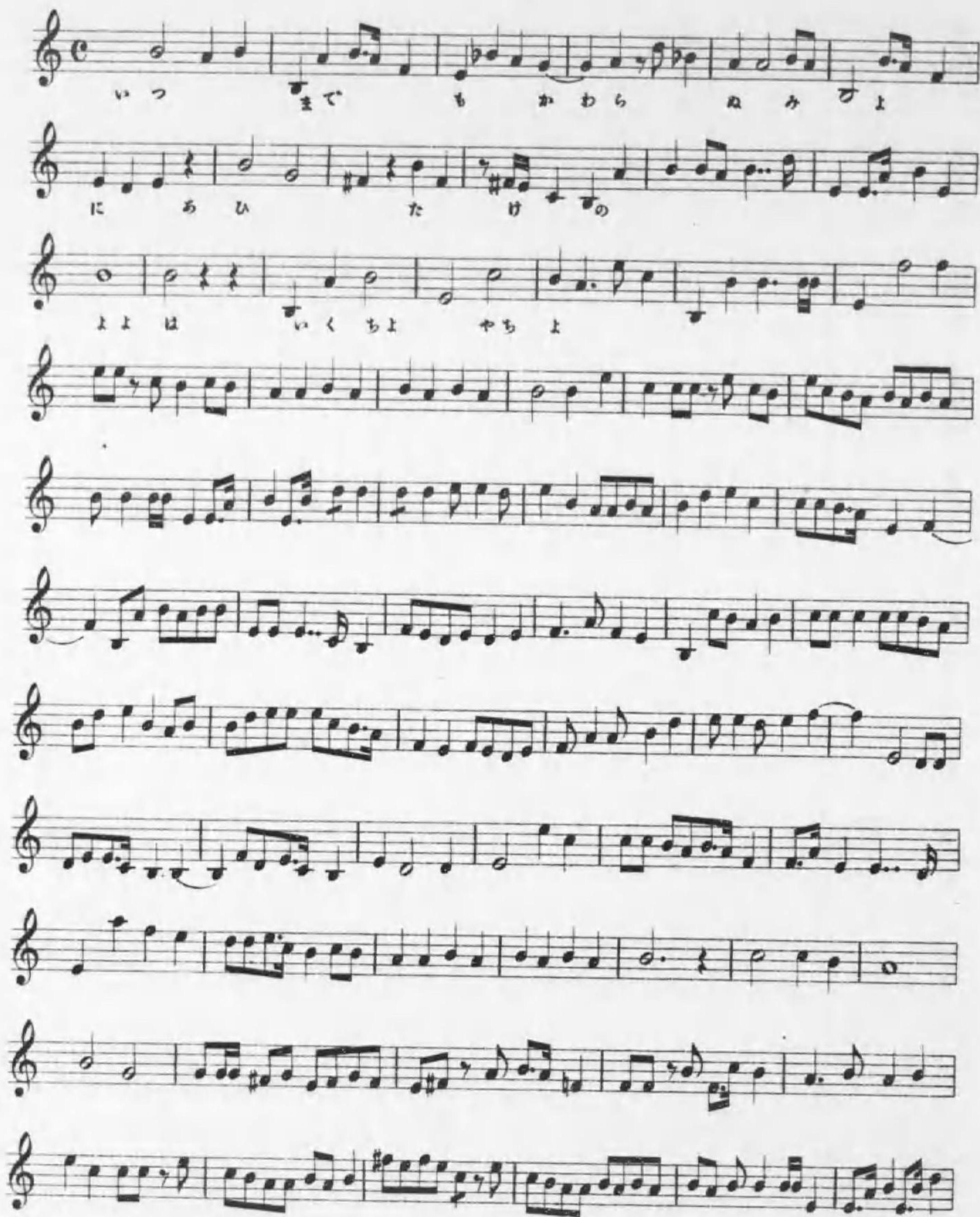
三絃

米洗ひ 本調子

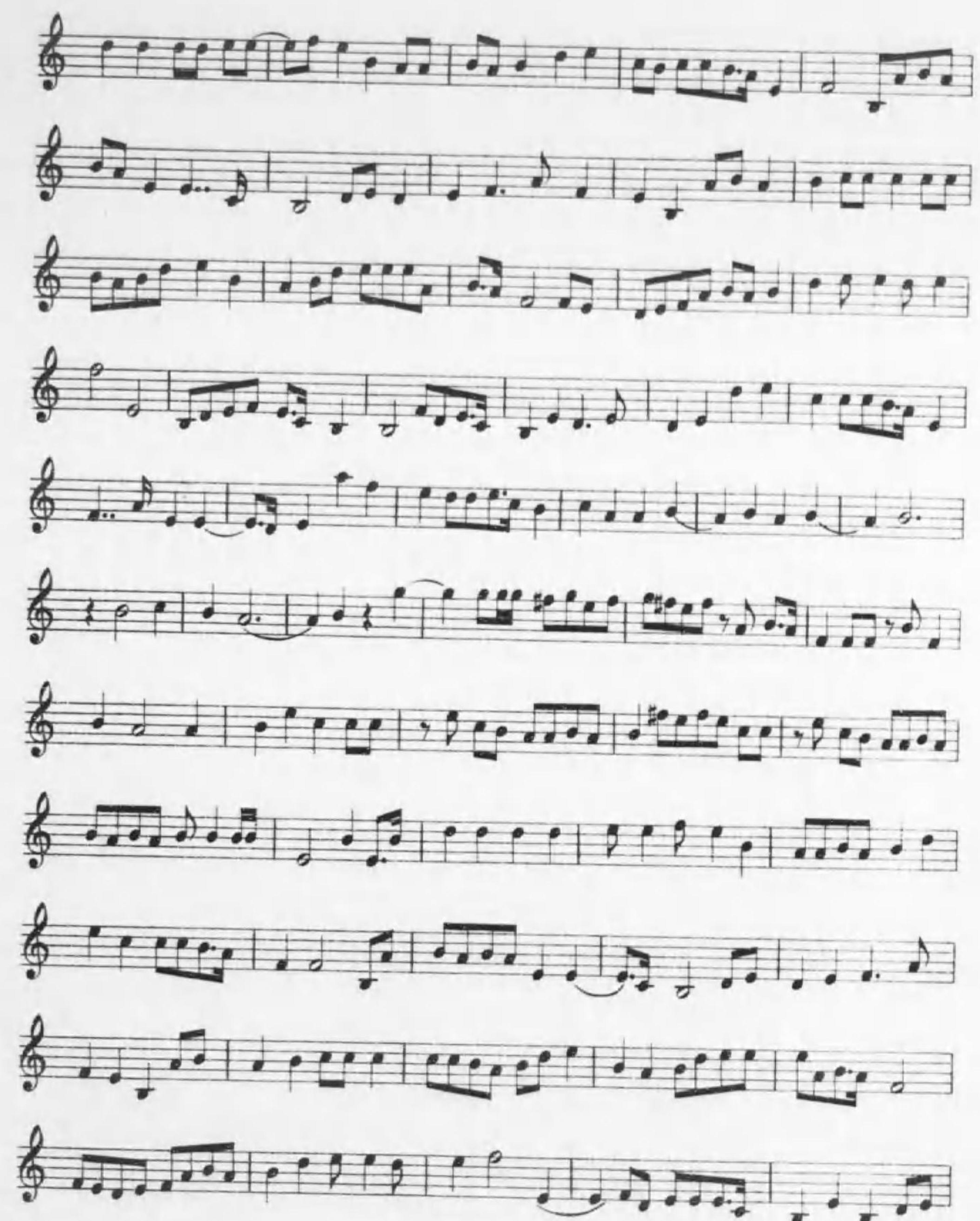
學曲三絃

八千代獅子

水調子



八千代獅子 ヴニキ



八千代獅子 ツヤキ

ゆきぞかかれるまつの上
たはにゆきそかか
れるまつのふたはに

三絃

我が物 本間子

わかものこおもへ
かきのかさのゆき
こひのおもにきかたにかけ
けいもかりゆ
けはふゆのよの。かわかせ
さむくちごりなくまつみにつらきお

我が物 ツヤキ

さごたつじつにやるせがないわいな

三絃

御所車 二上り

かにまよ上うめ
かのきはのにはびひこ
りはなにあふせをまつごせのあけて
うれしきけそうぶみ
ひらくはつ
ねのしげらすしまだごけ
やらぬうすごほり

御所車 ツヤキ

きに おもひは よふかく
さの ももよもかよふこ
ひの やみ
なさけのかりねのここにまくら
かたしよもすから

元禄花見踊 二上り

うつれて
きつれて
ゆくそても
たんだふれふれエ

元禄花見踊 ツヤキ

ろくゆくそでのしかもかのこの
ふりそで
もよを
そにやつわはしをめ
てわみたかやんれそんそれわ
そおかいな
むらさきいろもこいやんれそんれわ
そかいな
きそろゑ
てざさんざのそおとわは
まひまよ

元禄花見踊 ツヤキ

さ
大津畫ぶし
三絃
ニ上り
タ
イ
オ
イ
お
や
ち
ご
の
そ
か
ね
こ
ち
ら
へ
か
し
て
お
く
れ
お
や
ぢ
め
は
び
つ
り
ぎ
や
う
て
ん
し
イ
エ
か
ね
で
は
ざ
さ
ん
せ
ぬ
む
す
め
か
し
て
く
れ
た
よ
う
い
の
に
き
り
め
し
お
さ
き
へ
ま
い
ま
し
や
う
し
ぶ
こ
い
お
や
が
め
こ
ぬ
き
は
な
し
な
ん
の
く
も
なく
ひ
こ
ゑ
ぐ
り
お
か
ね
ご
い
の
ち
の
お
ん
あ
い
わ
か
れ
の
ふ
た
つ
た
ま

夕ぐれ
本調子

ゆ
く
れ
に
あ
か
ぬ
す
み
だ
か
は
つ
き
に
ふ
せ
い
を
ま
つ
ち
や
ま
ほ
か
け
た
ふ
ね
か
み
ゆ
る
そ
に
あれ
あれ
こ
り
か
な
く
こ
り
の
な
の
み
や
こ
に
め
い
じ
ょ
か
あ
る
わ
い
な
三
絃
わ
し
か
く
に
さ
て
み
せ
たい
も
の
は
む
か
し
や
た
に
か
せ
は
ま
た
て
も
よ
う
な
つか
し
み
や
さ
の

わしが國さ
ニ上り

わしが國さ ツヤキ

三絃

しのぶ
うかれまひそへまつ
しまほごり シヨンかエ

伊豫ふし

さかやすみよし そりは
しわたるおくのてんじんご
たいりさおもこやしらや
しんめいあなたからだいじんぐうさんをふしおがみたんじよせきにはい
しきつむあかまへだれかでてしまねくさらさらせんべい
たけうまにむきわらざいくにつなぎかひかわしゃんせ

本調子

鶴巣

木調子

三絃

げつきうでんのひやくにのたもど
げつきうでんの
ひやくにのたもどいろいろたへなるはなのそ
で
あきはしぐれのもみ

鶴 鳴 ツマキ

ちのはそで ふゆはさに ゆくゆきのたもごを
ひるかへすころももうすむらさきのくものうへび
このかくのこゑごゑに けいしやううのきよくを
なせ
んかそうもくこくごゆたかに ちよよろづよど
まひたまへばくわんにんかよちやうみこしき
はやめきみかよはひはちやうせいでんに
きみかよはひはちやうせいでんに かんぎよ
なるこそめでたけれ

梅の春

木調子

はるりしき
ういてかもめのひいふうまいよう
いつかあづまへつくは
ねのかのもこのもをみやこざりいざここは
んまほうさ
よろずよしはらさんやはほり
たからぶねこ
はつかひによいはつゆめをみつぶ
こんべんてんさんとそひ
ふしおはなのにしきのかざりやく
はたちはかりもつみかさわね

梅の春 ツヤキ

はうらいさんといはふなる
ふじ
をせなかにやかためのしほじりながくあすわれば
ほんにいなかもましばたく
は
しほいまどのあさけむりつづくかまごも
にぎはうてせんしらくは
たみをなでばんざからくには
いのちをのぶしゆびのまつかにたけちやうのわたしも
るみもこきをにてめでたくここにすみだかは
つきせぬながれきよもごどさかは
ここぶくうめかかせ
いくよのはるやにほうらん

勧進帳

木綿子

三絃
もごよりへん
けいはさんたうのゆうそらまひにんねんのこき
のわか
これなる
やまみづのおちていはほにひひくこそ
なるはたきのみつなるはた

勧進帳 ツマモ

たきのみづ
ひはてるごもたにすたうたりごくごくたてやたつか
ゆみのこころゆるすなせきもりひこびごいこままうしてさらばよごて
おひをおつごりかたにうちかけ
ごらのををふみごくじゆのくちをのかれたらここちしてむつの
くにへそくだりける

力ード式五線紙帖	
□定價表	□中紙價格表(各枚)
大判 金五拾銭	大判十二段兩面金十銭
中判 金參拾五銭	中判十段兩面金六銭
各中紙四十頁插入	中判四段片面金五銭

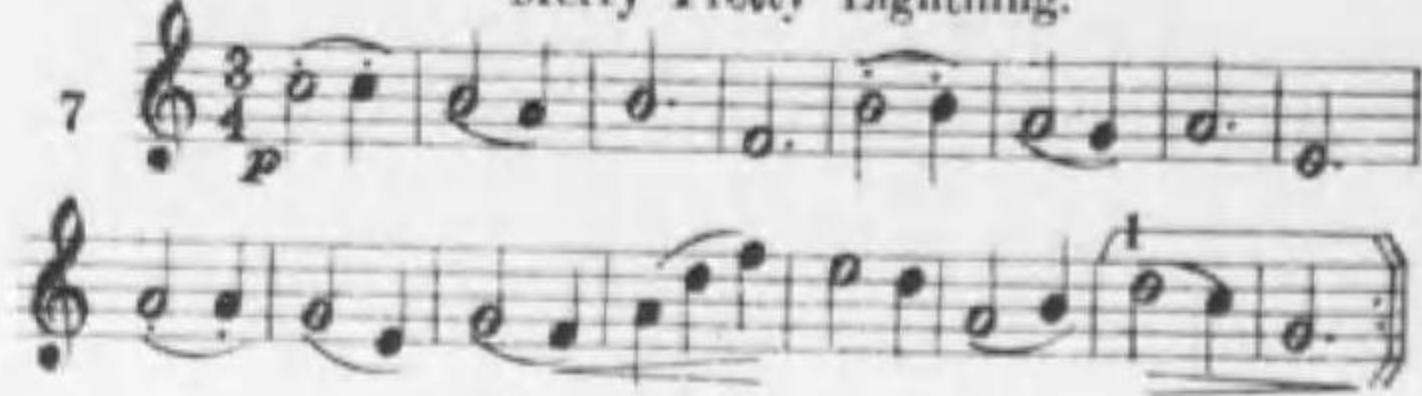
寫譜に苦々経験ある人、樂譜の取扱難保存に意を用ひる人又は
音楽會に出席せらる人等凡ての音樂家が感ぜられたる不便と不利
は遂に此の最新力ード式五線紙帖の案出によりて悉く其の要求を
満足せられたり
健団なる全物に依りて挿入、取除解る輕便自在にして極めて單純
なり、價格一見高價され共實際中紙の使用に依りて頗る安價なり



FAVORITE COLLECTION

集曲名シンリヲイヴ

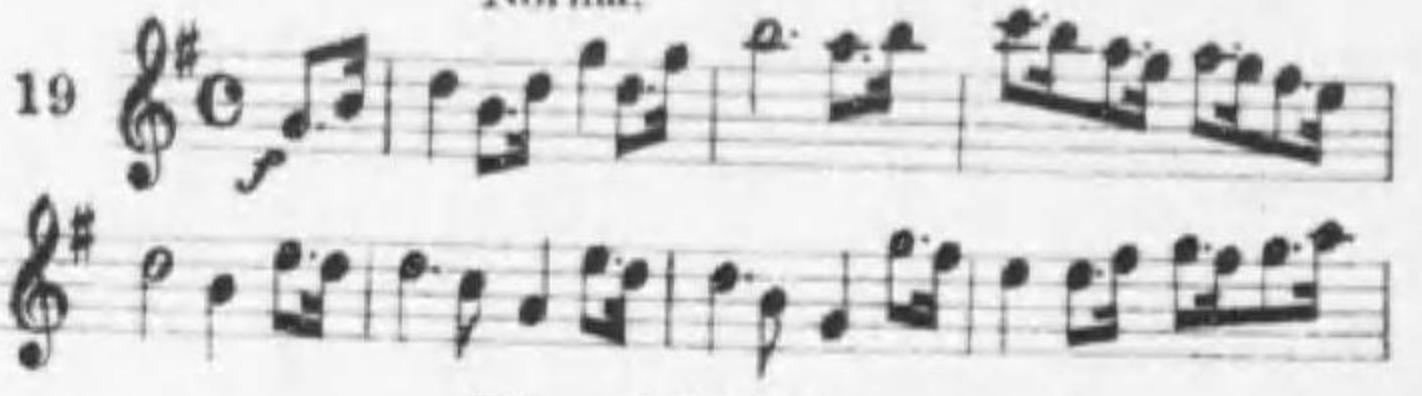
Merry Pretty Lightning.



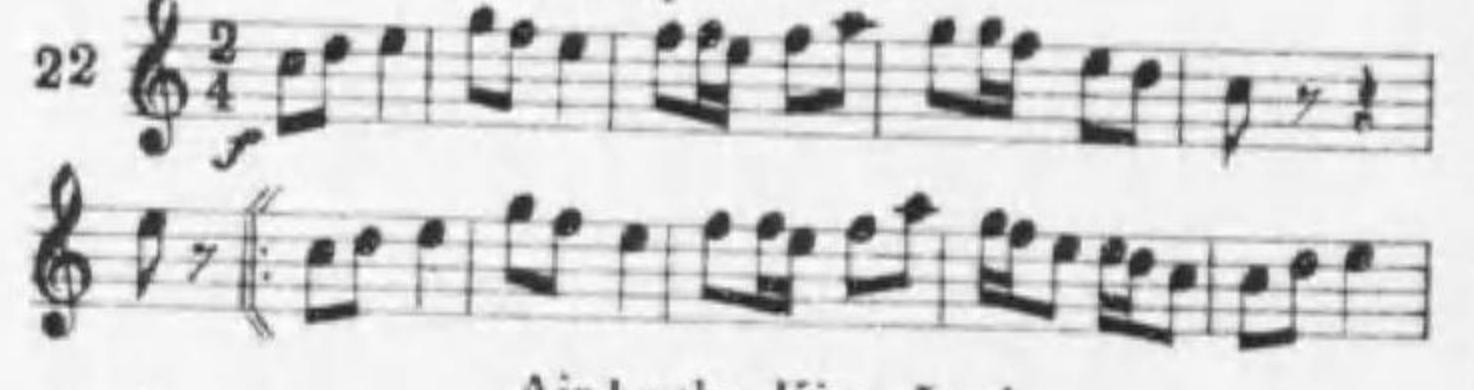
Joyous Gallop.



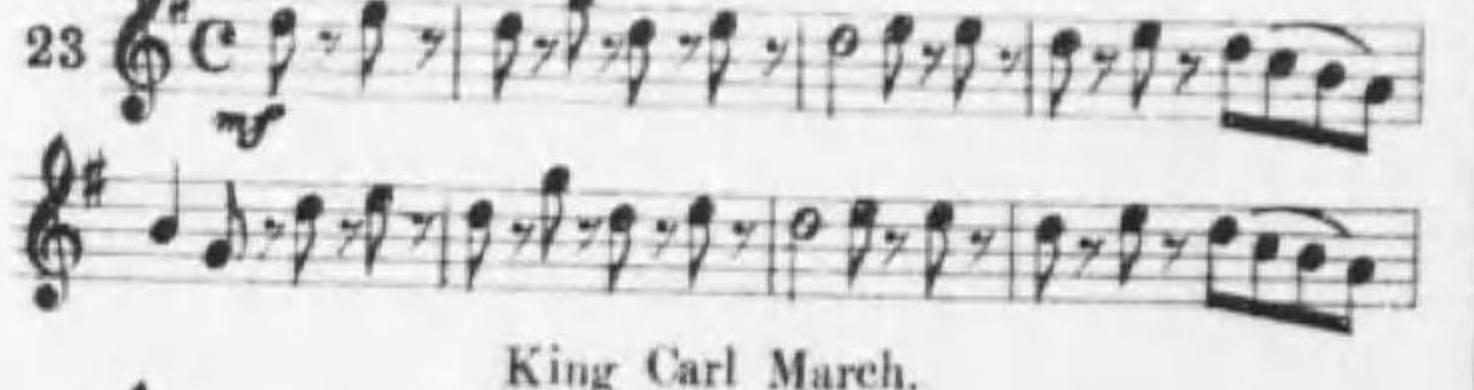
Norma.



Triumphal Polks



Air by the King Louis



卷之三



内容と其の特色

- 2 楽曲の種類はマーチ、ワルツ、ホルカ、ラベラ、カボリト等を算む
3 作曲者は泰西諸大家にして邦人の趣味に適する東洋的旋律なり
4 ピアノの伴奏を要せず、獨奏以て西歐樂の趣味に觸れしむ
5 然も洋曲に倣して多き變 ~~レズ~~^ル 又は變 ~~ル~~^フ は之を發し易からし
る爲臨時の變更は止むを得ざるも其他は奏し易き様悉皆之れを
調セリ之れ特色の最なり

6 曲數三拾餘價格金六拾錢！一曲貳錢にも値せず 郵稅金四錢
7 編作者は誰れ？英國より最近歸朝の歸れたる大阪在住の好樂家
8 裝訂、内容と共に從來の内地出版樂書と其の撰を異にする
9 樂曲の一端、左記の如し、先づヴァア芬兰オリンを以て之れを奏セ
10 然る後直に樂器店又は書肆店に注文せられよ。

號六三五一南話電
號三九六一臺大銀 店器樂マヤハ 話北橋寄

OF VIOLIN MUSIC

特115

984



終